

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2022. 6
No.383

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

Contents

続報!ウクライナ難民緊急支援 P.4-5



ポーランドに再派遣の
月井ボランティアから
最新レポートが届く



2022年世界食料デー P. 2

Hunger Zero ボランティア体験
安達瑠香さんから感想文 P. 6

チャイルドサポーター
ボリビア短期サポーター募集中 P. 7

ポーランド・メディカの一時的避難所に設置した
日本行きのご案内デスクで活動中の安達スタッフ

2022年世界食料デー

『Small Action Everyday!』

小さなことから一歩ずつ



世界食料デー大会 (沖縄)



世界食料デー礼拝 (石川)

2月24日のロシアによるウクライナ侵攻以来、世界の目がウクライナに注がれている今、戦闘に苦しむ人々に加えて水面下で大きな懸念が起こっています。それはウクライナ危機が起点となり、世界的な食料難（主に小麦やトモロコシなど）が起こり始めていることです。

世界の、わけても私たちが世界食料デー大会を通してこれまで支援を続けてきた経済的、社会的に脆弱なアフリカや南米、アジアの国々の人々が、食料高騰から始まって政情不安、内戦といったさらに苦しい道を歩むことになるのではないかと大変心配されます。食料自給率の低い日本（※1）でもすでに小麦や油の値上げが家計を圧迫し始めるなど、私たちの生活とも決して無関係ではありません。

飢餓拡大をくい止めるためにも

国連の世界食糧計画 WFP のデイビッド・ビーズリー事務局長は、「戦争がなくなれば、飢餓はなくなります」とインタビューで答えています。（※2）それはウクライナで起こったように、戦争が難民や国内避難民を生み、飢餓を起こす最大の原因であるなら、それを止めるのも私たちの責任であるということです。

このことを思う時、今年の食料デー大会ではこれまで以上に世界の国々の平和構築、開発途上国のコミュニティ自立支援、そして日本の食料事情と私たちの生活に関心を向ける必要があります。

ぜひ今年もお近くで、またはオンラインで持たれる世界食料デー大会（イベント）にご参加ください。

『Small Action Everyday!』

毎年10月16日の「世界食料デー」は、国連が世界の食料問題を考える日として制定されました。ハンガーゼロはこの運動に賛同して、全国の支援者（支援グループや団体、個人）とともに世界食料デー大会の開催や「あなたの1食分募金」などを継続して、飢餓問題を解決する取り組みの応援を続けています。

2022年のテーマは「Small Action Everyday!」です。ハンガーゼロ「飢餓のない世界」の実現は、私たちの生活と世界とのつながりを知ることから一歩が始まります。「小さなことから一歩ずつ」を実践していきましょう。今年の世界食料デーがそのきっかけになることを願っています。

【報告】2021年世界食料デー募金、目標額を達成！

昨年の世界食料デー募金は、現在目標額の2,000万円を上回る募金が全国から寄せられています。最終金額（2022.6末で集計）と支援活動報告は、ハンガーゼロニュース9月号に掲載させて頂く予定です。

※1 日本の食料自給率：37%（カロリーベース）
農林水産省「知ってる？日本の食料事情2022」より
※2 NHK出版「2030 未来への分岐点1」～食料を“平和のための武器”に～より

世界食料デー募金 2022

2022-23年度 支援国での活動に用いさせていただきます



● 主な支援プロジェクト

- コンゴ民主：地域リーダー育成、農業支援
- ケニア：農業支援、学校教育支援
- エチオピア：エイズ孤児などへの生活支援
- フィリピン：地域リーダー育成、教育支援
- インドネシア：妊産婦の栄養改善、農業支援

Child Supporter
チャイルドサポーター

● チャイルドサポーター
月々 4,000円
現在、4カ国で募集中

- ルワンダ ● フィリピン
- バングラデシュ
- バリビア



大阪市にあるプール学院中学校・高等学校では、2022年4月からハンガーゼロ自販機を設置してくださっています。学校の地域社会に対する取り組みや自販機設置に至る経緯を自販機チームの皆さんからお聞きしました。

プール学院中学校・高等学校



自販機設置でグローバルスタディの活動に参加

Q ハンガーゼロ自販機を設置して下さった理由をお聞かせください

●自販機チーム（高3女子9名）

ジェロムさんの講演を聞いて、世界のために何かやりたいと思いました。何がいかお互いにアイデアを出し合って、似た意見がでたのがこのチームです。ハンガーゼロ自販機は、飲み物を買った人は自分の飲みたいものを飲んでそれが誰かのためになると思うと達成感がある。両方が嬉しくて楽しい支援になると思いました。

ジェロムさんの講演を聞いて何かをしたいと

Q 自販機設置の経緯は

●成岡宏晃チャプレン（宗教部長）写真①

2019年度よりプール学院では地域との協働による高等学校教育改革推進事業〔グローバル（グローバルとローカルの造語）型〕に参加しています。※〈2022年度よりSGH（スーパーグローバルハイスクール）参加校となる〉

生野区は様々なルーツを持つ人が集まる多文化共生の町です。最初はそれを知ることから始まりました。

第一段階として、生野区の区役所の活動、NPO団体とその活動を学びました。翌2020年度は日本における難民の実態について学びました。難民支援の団体と協力して物資を送らせていただきました。

昨年はコロナで実施できませんでしたが、ジェロムさん

に本校で講演していただき、私たちは非常に大きなインパクトやショックを受けました。そこで生徒から自発的に「自分たちに何かできるのではないか」という思いが生まれ、昨年度10月頃からハンガーゼロさんの活動に参加しようということで自販機を設置をお願いしました。

本校では3月まで自販機チーム、募金チーム、フードロスチーム、広報チームを作ってグローバルスタディの活動をしていました。例えばフードロスチームは、近所のパン屋さんの廃棄になるパンを校内で売って、その差額をハンガーゼロさんに募金したいと計画しました。募金チームは、「名物」教員のグッズを特典として募金活動を行い、寄せられた3万円ほどの募金があったのでこれもハンガーゼロさんにお送りしました。

世界の課題を自分たちのこととして行動に

Q 今後の展望は

本校はキリスト教の教えに基づいて愛と奉仕の精神を実践しています。他者のために自分にできることは何か、そのために自分を鍛えることができるか。とりわけ世界で問題の中にいる人たちを傍観するのではなく、自分のこととして捉えて行動に示していきたいと考えています。日本や世界の現実をもっと積極的に、知って、感じて、考えて、深めて、行動に移していきたいです。



自販機設置のご相談は、大阪事務所まで。JIFHのホームページに資料を掲載。右のQRコードからご覧になれます

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147
栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



続報!ウクライナ難民緊急支援

新たなニーズにも応えながら活動

5月6日に再びポーランドに入った月井サムエルさん（緊急支援ボランティア）からの報告です。現地では引き続きウクライナ難民への支援物資の提供や避難所の運営サポートにもあたりながら、新たに難民の日本受け入れの橋渡しや孤児たちのポーランドへの一時避難プログラムにも着手しています。また、同16日からハンガーゼロ安達燎平スタッフも現地入りし、この活動を行なっています。



月井ボランティア



安達スタッフ



GEMに届いたパンの缶詰と医療品。パン・アキモトさんはパン缶6,000食分とポーランドまでの輸送費を、中京医薬品さんは、150万円相当の医療品を支援してくださりました。

ポーランドに再び入りました。前回4月初旬に活動していた時は難民の方々が町中でごった返していましたが、少し落ち着いた様子です。しかし、相変わらず駅などの公共の場所にはウクライナから来た人があちこちにおいて、ボランティアが食事を配ったり、一時滞在用のシェルターを作ったりしています。戦争の状況変化によって、ウクライナに戻っていく難民の方々も毎日たくさんいるので、国境付近のバスはいつもいっぱいです。



GEMの倉庫にパンの缶詰が届く

GEM（グローバル・エンパワーメント・ミッション＝米国の物資支援団体）の職員でウクライナ難民の方が、パン・アキモトのパンの缶詰「救缶鳥」が倉庫にやっと届いたと喜んでいました。また、中京医薬品からの医療物資（包帯・絆創膏・傷口消毒液）も一緒に届いています。今後、ウクライナのどの地域に送られるのかを確認して、報告をもらうようにしていきます。



※パンの缶詰支援は、NHKニュースのほか新聞でも報道されました。

日本への難民受け入れをサポート

4月にポーランドから日本に戻ってきた時、日本でウクライナ難民支援をするために準備をしてくださっている方々がたくさんいることを知りました。それでハンガーゼロにポーランドで行き場をなくしているウクライナの人々を日本に繋



ぐ橋渡しの役割を提案したところ、具体的に進めていくことになりました。早速、メディカの一時避難所内に日本に渡航を希望する人のための案内デスクを設置したところ、すぐに数名の方から「行きたい」との申し出がありました。そのためポーランドの日本大使館との調整、諸手続きを慎重に進めているところです。

ウクライナ人孤児の支援

戦争が始まる前からウクライナには大勢の孤児がいました。戦争が始まった今、彼らは親と生きられないトラウマと、戦争のトラウマの二つのトラウマを抱えています。こうした孤児たちをウクライナからポーランドへ疎開させることに関して現地の施設関係者から相談を受けることがあります。ただ、保護者なしで外国に行くことは人身売買につながる恐れもあるので孤児たちの避難については慎重に進めなければなりません。そのためポーランドの団体、ウクライナの団体と連絡をとりながら、支援実現の調整をしています。



難民の最初の避難所「テスコ」について

国境付近や街中にある難民の避難所の中で、テスコという大きなショッピングモールを避難所として活用している場所があり、ハンガーゼロが何度も支援やボランティアで訪れています。他の避難所と比べていろんな機能が集中していることもあり、とても忙しく、日本からのボランティアでもすることがたくさんあります。

他の避難所との違いは、ポーランドでここだけが、他国に避難する難民の一時的な滞在場所となっていることです。毎日200～300人がバスでウクライナから到着します。テスコに難民が滞在できるのは最長で3日間だけです。彼らはその間に行き先（他国）を決めて出発しなければなりません。

テスコのユニークなところは、全てボランティアのみで運営されているところです。ハンガーゼロの最初の緊急支援チーム（近藤スタッフほか2名）や私もボランティア登録をして、清掃やペットメイキング、キッチンワークなどの作業をして、ここの運営を手伝いました。出入り口だけは軍隊と警察に管理してもらっていますが、リーダーも医者も調理人もみんなボランティアです。そのため、国の都合でいつ急に閉鎖になってもおかしくない状況なのですが、今は政府からも町からも喜ばれて協力を得ることができています。



ウクライナ人アスリートの支援

私は日本の教会で青少年を対象にスポーツ交流プログラムをしています。その関係でスポーツ選手のネットワークを使って難民支援をしているアリサさん（ウクライナ人プロ卓球選手＝写真⑤）を支援しています。今回、日本のみな

さんから預かったアリサさんへの募金をお渡ししました。また、アリサさんがポーランドの首都ワルシャワで選手活動と難民支援を続けることができるようにハンガーゼロが住居支援をしてくれています。

アリサさんの住居には、他のウクライナ人スポーツ選手と一緒に暮らしており、一時的に難民が宿泊できるようにもしています。



日本から来たボランティアたち

5月9日に日本の関東地区から私の友人でもある3名のボランティアがきてくれました。彼らはポーランド国境付近で活動しているYWAM（ユース・ウィズ・ア・ミッション）という団体でボランティアを始めてくれています。（写真⑥）まだ到着して数日ですが、避難所で演奏をしたり難民の荷物を運んであげたり、施設を消毒したり、子どもたちを笑顔にしたりとそれぞれの持ち味を発揮して、よい活動をしています。演奏ボランティアでは、一緒にウクライナ語で歌いはじめる人や泣きながら聞きいる人もいて、大きな励みになっています。彼ら（全員ミュージシャン）はハンガーゼロの活動も手伝ってくれることになっています。

頂いた募金は次のように用いさせていただきます

- ①ウクライナ国境検問所（メディカ）近辺および一次避難所（プシェミシル、コルチョバ等）での難民に対する活動支援
- ②ルブリン市でKFHI（韓国飢餓対策機構）と協力し開設した二次避難所の運営と活動支援
- ③ジェシユ市にあるGEMの倉庫への日本からの物資輸送（パンの缶詰、医療品等）に協力、またポーランドで食料や日用品を調達し、ウクライナ国内への持込を支援
- ④ウクライナ人孤児、アスリートの支援
- ⑤戦闘が終了後、ウクライナ国内の復興支援
- ⑥その他、状況の変化で緊急的に必要とされる支援

【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジットカード決済利用の2種類

- ①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 「ウクライナ緊急支援」と明記
- ②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用できます。





ハンガーゼロの大阪事務所に4月に学生ボランティアとして3日間来てくださった、^{あだる か}安達瑠香さんから感想が寄せられました。

私は今、フィリピンにあるミッション系の大学でミニストリーにおける地域開発や支援などについて勉強しています。その授業の一環として、今回は主にチャイルドサポーターの業務を体験させていただきました。各国のチャイルドの手紙などの翻訳作業をしていると、その国の文化を目の当たりにします。家族



それに伴う収入も大きく変わってきます。多くの家庭では学費を負担することが難しいのを知って、わたしはチャイルドサポーターの活動がどれだけ大切かを痛感しました。

子どもたちにとってサポーターさんとの出会いはまさに人生を変えるかもしれない出来事だとしみじみ思いながら、それぞれのサポーターさんと

みんなで農作業をしたり、家畜を育てたり、

たとえ小さな一歩でも…

井戸で飲み水を汲んだり、今の私たちの生活ではあまり経験できないようなことを、子どもたちからの手紙を通して知るとはとても新鮮であり、どこか懐かしくもありました。

チャイルドサポーター活動の大切さ

この機会を通して私が一番感じたことは、チャイルドサポーターという活動におけるハンガーゼロの役割の大切さです。私の大学に通う学生はほとんどがフィリピン人なのですが、多くの方が何らかの形で経済的支援を受けています。そしてそれを学費などに充てています。日本でもそうですが、フィリピンで大学や大学院で勉強をすることは将来の仕事に関わり、とても重要です。卒業資格があるのとないのでは、キャリアや

手紙のやり取りをしたり、実際に対面で交流し

ている姿を見ていると、とても微笑ましく、素敵な関係だなと感じます。そしてなによりも、その関係をつなぐ橋渡しの役割をしているハンガーゼロスタッフの働きが、一層尊いものだと深く思い知りました。自分も将来、なんらかの形でこの働きに関われたらいいなと思いました。

たとえ小さな一歩でも、それが世界のどこかで誰かを支える一歩になるかもしれない、そんなことを改めて考えながら、この文を書き終えようとしています。短い間でしたが、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

●あなたもハンガーゼロでボランティア体験をしてみませんか。ハンガーゼロ各事務所までお問い合わせください。

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty
ロングライフグループ Resort & Longlife 1986 **0120-550-294** こ こ わ ふ く し 受付時間 9:00~18:00 年中無休

大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国 (青島) / 韓国 / インドネシア (ジャカルタ)



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘



ボリビア・アサニ/リオカイネ地区

短期チャイルドサポーター募集中!

申し込み締め切り：2022年11月末

 2012年にボリビアのアサニ地区とリオカイネ地区における支援活動が開始されて今年で10年、2024年の12月末には両地区はハンガーゼロの支援から「卒業」をし、自らの力で歩み出します。そのためにチャイルドの支援も2024年12月末で終了を迎えることとなります。



チャイルドサポーター事務局では、両地区の支援卒業まであと2年となる中でまだサポーターのいないチャイルドを応援して下さる「短期チャイルドサポーター」さんを募集致します! 支援していただく期間は1~2年です。

チャイルドサポーターに興味はあっても長期に支援を続けていける自信がない、という方にも始めていただきやすい期間です。子どもと個人的なつながりを持つことを通して、支援を待っているチャイルドに愛と希望と喜びを届けてくださいませんか。

- チャイルドの住んでいる場所：アサニ地区、リオカイネ地区
- チャイルドの対象年齢：5~16歳
- サポーターを待っているチャイルド：72名

■お申し込みはホームページ又は電話にて事務局 Tel: 072-920-2226 で受付しています。



公式 HP

子どもたちの笑顔のために チャイルドサポーター

Child Supporter
チャイルドサポーター

子どもたちの希望になろう!

貴国のため我々に
希望を持つことができない子どもたちが
我々に希望を持つことができるように。

チャイルドサポーターの活動

世界の子どもたちは、飢餓、病気、差別(DFP)など、
災害、戦争、不安定な生活環境など様々な困難に
直面しています。
そのために我々に希望を持つことができません。
チャイルドサポーターの活動は子どもに希望を
届けてあげたい。

Child Supporter 2つの支援方法

子どもを支援する

支援地域の特定の子どもとつながり、地域で行われる活動をご支援いただけます。あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される大切な存在であることに希望を抱き、地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円

子ども1人を支援することができます。

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる様々な活動をご支援いただけます。

地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、子どもを取り巻く環境の改善と質の向上を目指します。

1,000円~

月々または自由なタイミングで支援できます。

Okuda DESIGN PROJECT 施工例
デザイナーズアパートメント

Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—
インターネットでお部屋探し。
www.okuda-re.co.jp

代表取締役社長 奥田 英男
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9

042(552)0102(代)

総合不動産 有限会社オクダ商事
総合建設 オクダ建設株式会社



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。



南インド・ケララ州の オーガニック紅茶

香り豊かなロックハート紅茶で、ストレートでもミルクティーでもおいしいです。

リーフティーは1パック70g、ティーバッグは2g入り20包。リーフとティーバッグの組み合わせ方は自由です。

2袋で送料込1,500円です。

3袋以上ご希望の場合はご相談ください。

お支払い：下記の方法から

- ①銀行振り込み
- ②郵便振替の後払い

お申し込み：

㈱キングダムビジネス
スマートフォンは右の
QRコードから



電話注文：06-6755-4877

ハンガーゼロ海外駐在員短信

●ジェロム・カセバ(コンゴ民主)

5月3日に日本を出て活動地のコンゴ民主共和国に入りました。現地ではパートナーのハンズ・オブ・ラブ・コンゴの活動状況を確認します。また、隣国ザンビアで新たなパートナーとなる「愛の手ザンビア」を訪れ、活動予定地の視察やこれからの活動協力、計画

などについて代表者のムラオ氏らと話し合いを行ないます。ジェロムスタッフは6月に帰国予定。

●酒井保・慶子(フィリピン)

フィリピンでの新型コロナ対策で入国規制が大幅に緩和され、5月13日に酒井保・慶子スタッフは再入国することができました。これから現地パートナーのハンズ・オブ・ラブ・フィリピンで活動にあたります。

●小西小百合(ボリビア)

3月にボリビアに再入国済み。

理事会を開催

一般財団法人日本国際飢餓対策機構の「定例理事会」を6月10日(金)に大阪で開催します(オンライン出席者も含む)。1～4月の各事業部活動報告に加え、次年度(今年7月～来年6月)の計画・予算案などが審議されます。



ウクライナ支援の 催事や募金が続く

多くの支援者や支援団体(キリスト教会も含む)・企業様が、チャリティーコンサートやバザー等の開催、また物品販売等を通じて募金を寄せてくださっていますことを感謝いたします。大阪事務所の自元のライオンズクラブ様からも支援を賜りました。また親善大使の森祐理さんは、支援コンサートの開催とともに、自身のラジオ番組にハンガーゼロのスタッフを招いて、ウクライナ緊急支援活動をリスナーに報告する機会を提供してくださいました。皆様にご心より感謝を申し上げます。

Hunger Zeroの

SNS

ソーシャル
ネットワーキング
サービス

YouTube

Facebook

Twitter

Instagram

LINE

国際協力に
参加する活動の
第1歩目として…

YouTubeのチャンネル登録や
各種SNSのフォローをお願いします!

詳しくは
▼こちら▼

| サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155 | |
|-------------------------------------|--|
| 氏名 | フリガナ |
| (TEL) | |
| 住所 | 〒 |
| 申込日 | 年 月 日 NL383号 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 下記から希望されるものをお申し込みください |
| <input type="checkbox"/> | ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(10,000円) ②一時募金として 円協力します。 |
| <input type="checkbox"/> | 継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(10,500円) |
| <input type="checkbox"/> | チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。 |
| <input type="checkbox"/> | 郵便自動引落とし申込書を送って下さい。 |
| <input type="checkbox"/> | その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。 |

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **52000** 口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

- 募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
- ①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
 - ②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,400,718ポイント(円)のご協力(23,503件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたしません。